

## (11月の果実見通し)

品目	区分	入荷量(t)			キロ当たり単価(円)			山形県産前年実績		コメント
		前年実績	前年比見込(%)	5ヵ年平均	前年実績	前年比見込(%)	5ヵ年平均	入荷量(t)	占有率(%)	
みかん類		25,827	80	24,813	169	103	192	-	-	<ul style="list-style-type: none"> <li>・みかん類は表年の前年に比べ、各産地とも生産量は減少。</li> <li>・愛媛産は例年通り11月初めから入荷予定。階級はM、L中心。</li> <li>・熊本産は糖度、色回りの等品質が平年レベルを下回り市場出荷量は前年比3割減の見込み。</li> <li>・全体の入荷量は表年だった前年を2割下回り、価格は極早生種の価格低迷が影響はあるものの安値だった前年を上回る見込み。</li> </ul>
りんご類		8,769	105	8,623	267	91	255	2,785	31.8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中生種(ジョナゴールド、王林など)から「ふじ」主体に移行。主産地は山形その他長野、青森県。</li> <li>・全国的に気象災害もなく、適度な降雨、日照があり、各産地とも果実肥大・品質は良好。階級は36玉中心。</li> <li>・全体の入荷量は前年を上回り、単価は前年を下回る見込み。</li> </ul>
かき類		8,170	115	8,120	236	89	226	370	4.5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・着色遅れ、小玉果の前年に比べ、各産地とも出荷量は増加。玉伸び、食味の仕上がりは良好。</li> <li>・入荷量は前年を上回り、価格は前年を下回る見込み。</li> </ul>
かき(平核無)		3,027	102	2,879	230	82	213	355	11.7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主力産地が和歌山、奈良産から新潟、和歌山産にシフト。</li> <li>・新潟産は着色の遅れた前年に比べやや前倒しの出荷。階級もL中心となり前年より大玉傾向。出荷量は平年を上回る見込み。</li> <li>・和歌山産は前年のような出荷遅れなく、平年どおり上旬で終了見込み。</li> <li>・入荷量は前年を上回り、価格は前年を大幅に下回る見込み。</li> </ul>
なし(ラ・フランス)		1,194	135	1,178	292	82	292	1,134	95.0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長野県産は10月いっぱいに出荷はほぼ終了。</li> <li>・主力の山形産は例年通り10月中旬から入荷開始。台風などの気象災害もなく、天候も良かったことから作柄は良好。果実の肥大は前年よりも1階級小さいものの平年並み。</li> <li>・新潟産のル・レクチェは11月下旬から入荷が始まり、入荷量は前年を上回る見込み。</li> <li>・入荷量は前年を大幅に上回り、価格は入荷増から前年安の展開となる見込み。</li> </ul>

(11月の果実見通し)

品目	区分	入荷量(t)			キロ当たり単価(円)			山形県産前年実績		コメント
		前年実績	前年比見込(%)	5ヵ年平均	前年実績	前年比見込(%)	5ヵ年平均	入荷量(t)	占有率(%)	
いちご類		609	98	767	1,892	105	1,663	1	0.2	・栃木の「とちおとめ」は10月中旬より入荷。福岡「あまおう」、佐賀「さがほのか」、静岡「紅ほっぺ」は11月中旬よりの入荷予定。11月の入荷量は各産地からの出荷が揃ってくることから日々増加する見込み。 ・全体の入荷量は前年をやや下回り、価格はシーズン初めということもあり前年を上回る見込み。